



2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年8月7日

上場会社名 日新商事株式会社
コード番号 7490 URL <https://www.nissin-shoji.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 博昭

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 今井 潤

TEL 03-3457-6254

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	8,530	12.4	69	122.6	194	1.0	86	25.8
2026年3月期第1四半期	9,736	4.6	31	70.0	196	12.1	116	10.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 298百万円 (86.5%) 2026年3月期第1四半期 2,211百万円 (62.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	12.96	—
2026年3月期第1四半期	17.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	41,910	26,916	63.2
2026年3月期	42,881	26,708	61.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 26,474百万円 2026年3月期 26,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		—	—	—	—

(注) 2026年6月23日付で公表いたしました「株式会社EDIANDによる当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、当社株式は所定の手続きを経て上場廃止となる予定であることから、2027年3月期の配当予想は記載しておりません。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

2026年6月23日付で公表いたしました「株式会社EDIANDによる当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、当社株式は所定の手続きを経て上場廃止となる予定であることから、2027年3月期の業績予想は記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	7,600,000 株	2026年3月期	7,600,000 株
期末自己株式数	2027年3月期1Q	923,600 株	2026年3月期	923,556 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	6,676,425 株	2026年3月期1Q	6,676,444 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2026年6月23日付で公表いたしました「株式会社EDIANDによる当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、当社株式は所定の手続きを経て上場廃止となる予定であることから、2027年3月期の業績予想は記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げに伴う雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の継続等により、景気は緩やかな回復基調となりました。景気の先行きについては、中東情勢の緊迫化を背景とした原油・ナフサの供給不安や物価の高止まり懸念等により、依然として不透明な状況が続いております。

石油製品販売業界におきましては、原油価格は、4月上旬に117ドル台後半まで上昇したものの、米国とイランの停戦合意を受け、ホルムズ海峡の封鎖解除による石油輸送正常化への期待の高まり等により落ち着きを見せ、6月末には69ドル台後半となりました。為替は、期初より158円台で推移し、日銀による早期利上げ観測の強まりや4月末の為替介入等から一時円安が後退する場面もありましたが、その後、日米金利差等により円安傾向が強まり、6月末には162円台後半となりました。国内石油製品価格は、政府の中東情勢を踏まえた緊急的激変緩和措置等により、レギュラーガソリン価格は1リットルあたり169円台で推移しました。国内石油製品需要は、ナフサの輸入及び販売数量減少や、6月の天候不順等によるガソリンの販売数量減少等により依然として減退傾向で推移しました。

再生可能エネルギー業界におきましては、米国や欧州の脱炭素政策見直しの動きが継続しているものの、世界的な脱炭素化の動きは変わらないと考えられます。わが国においても、系統用蓄電池の設置等の多様な電源の確保に向け政府の導入支援策が引き続き講じられている等、再生可能エネルギー強化の流れは今後も中長期的に続くことが見込まれます。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、石油関連事業の直営部門における燃料油の販売数量減少等により、売上高は8,530,530千円（前年同期比12.4%減）となりました。営業利益は、再生可能エネルギー関連事業における蓄電所販売の利益寄与や不動産事業における修繕工事費用の減少等により、69,211千円（前年同期比122.6%増）、経常利益は、受取配当金の減少等により、194,480千円（前年同期比1.0%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、86,555千円（前年同期比25.8%減）となりました。

セグメント別及び部門別の状況は次のとおりであります。

<石油関連事業>

石油関連事業全体につきましては、直営部門における燃料油の販売数量減少等により、売上高は前年同期比9.8%減の7,948,026千円となりました。セグメント利益は、産業資材部門における農業用遮熱資材の販売増加等により、前年同期比6.1%増の219,775千円となりました。

(直営部門)

直営部門につきましては、燃料油の販売数量減少等により、売上高は前年同期比12.7%減の6,475,626千円となりました。

(卸部門)

卸部門につきましては、燃料油の販売数量減少等により、売上高は前年同期比5.4%減の56,946千円となりました。

(直需部門)

直需部門につきましては、法人向け燃料油の販売数量増加等により、売上高は前年同期比7.0%増の1,075,099千円となりました。

(産業資材部門)

産業資材部門につきましては、農業用遮熱資材の販売増加等により、売上高は前年同期比2.4%増の255,921千円となりました。

(その他部門)

その他部門につきましては、LPGガスの輸入価格上昇に伴う販売価格の上昇等により、売上高は前年同期比9.0%増の84,432千円となりました。

<再生可能エネルギー関連事業>

再生可能エネルギー関連事業につきましては、当社連結子会社であるJJ FUEL SUPPLY SDN. BHD. の事業停止に伴うPKS（Palm Kernel Shell：パーム椰子殻）の販売減少等により、売上高は前年同期比45.3%減の420,900千円となりました。セグメント損失は、蓄電所の販売増加等により損失幅が縮小し、50,565千円（前年同期はセグメント損失103,295千円）となりました。

<不動産事業>

不動産事業につきましては、「EDIAN（エディアン）」シリーズをはじめとする賃貸マンションの稼働が堅調に推移したこと等により、売上高は前年同期比1.7%増の161,603千円となりました。セグメント利益は、前年同期に実施した修繕工事費用の反動減等により、前年同期比54.9%増の95,167千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

前連結会計年度末に比べ、970,592千円減少し、41,910,651千円となりました。これは、投資有価証券が712,744千円、商品及び製品が191,642千円増加したものの、現金及び預金が1,371,068千円、受取手形、売掛金及び契約資産が299,673千円、関係会社株式が400,268千円減少したこと等によるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ、1,178,740千円減少し、14,994,057千円となりました。これは、繰延税金負債が175,950千円増加したものの、借入金が1,214,798千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ、208,147千円増加し、26,916,593千円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が209,203千円増加したことによるものです。

この結果、1株当たり純資産は前連結会計年度末と比べ、34.04円増加し、3,965.37円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月23日付で公表いたしました「株式会社EDIANDによる当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、当社株式は所定の手続を経て上場廃止となる予定であることから、2027年3月期の業績予想は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,447,679	6,076,611
受取手形、売掛金及び契約資産	8,817,457	8,517,784
商品及び製品	993,665	1,185,307
その他	2,637,713	2,647,394
貸倒引当金	△5,285	△3,881
流動資産合計	19,891,231	18,423,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,905,712	3,854,191
土地	5,999,175	5,999,175
その他（純額）	3,726,834	3,957,829
有形固定資産合計	13,631,722	13,811,197
無形固定資産	40,741	45,098
投資その他の資産		
投資有価証券	5,292,951	6,005,696
関係会社株式	2,943,158	2,542,890
その他	1,109,959	1,110,988
貸倒引当金	△28,521	△28,436
投資その他の資産合計	9,317,549	9,631,139
固定資産合計	22,990,012	23,487,435
資産合計	42,881,243	41,910,651
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,864,543	2,184,752
短期借入金	3,866,608	3,251,340
未払法人税等	210,127	46,877
賞与引当金	251,086	125,003
役員賞与引当金	10,380	2,748
事業整理損失引当金	299,200	299,200
その他	2,206,151	2,020,682
流動負債合計	8,708,096	7,930,604
固定負債		
社債	50,400	50,400
長期借入金	4,345,026	3,745,496
繰延税金負債	1,847,302	2,023,252
商品保証引当金	6,300	6,300
退職給付に係る負債	548,539	569,745
資産除去債務	189,538	189,883
その他	477,593	478,374
固定負債合計	7,464,701	7,063,452
負債合計	16,172,797	14,994,057

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,624,000	3,624,000
資本剰余金	3,286,817	3,286,817
利益剰余金	15,665,194	15,678,308
自己株式	△688,705	△688,802
株主資本合計	21,887,306	21,900,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,142,378	4,351,581
為替換算調整勘定	33,913	50,435
退職給付に係る調整累計額	183,689	172,024
その他の包括利益累計額合計	4,359,981	4,574,041
非支配株主持分	461,158	442,228
純資産合計	26,708,446	26,916,593
負債純資産合計	42,881,243	41,910,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,736,257	8,530,530
売上原価	7,976,403	6,676,934
売上総利益	1,759,854	1,853,596
販売費及び一般管理費	1,728,757	1,784,384
営業利益	31,096	69,211
営業外収益		
受取利息	2,080	4,232
受取配当金	156,401	94,370
持分法による投資利益	—	8,779
為替差益	17,746	—
その他	79,346	73,018
営業外収益合計	255,575	180,401
営業外費用		
支払利息	39,926	34,968
持分法による投資損失	37,073	—
為替差損	—	9,877
その他	13,290	10,286
営業外費用合計	90,290	55,132
経常利益	196,381	194,480
特別利益		
資産除去債務戻入益	3,721	—
移転補償金	16,714	—
受取保険金	—	8,728
特別利益合計	20,436	8,728
税金等調整前四半期純利益	216,817	203,208
法人税、住民税及び事業税	38,031	60,982
法人税等調整額	48,149	58,172
法人税等合計	86,181	119,154
四半期純利益	130,636	84,054
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14,008	△2,501
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,627	86,555

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	130,636	84,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,086,789	214,728
為替換算調整勘定	△57,149	16,521
退職給付に係る調整額	49,106	△11,665
持分法適用会社に対する持分相当額	2,319	△5,524
その他の包括利益合計	2,081,065	214,059
四半期包括利益	2,211,702	298,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,197,693	317,043
非支配株主に係る四半期包括利益	14,008	△18,929

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,807,637	769,664	158,955	9,736,257	—	9,736,257
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	8,389	8,389	△8,389	—
計	8,807,637	769,664	167,344	9,744,647	△8,389	9,736,257
セグメント利益 又は損失(△)	207,210	△103,295	61,419	165,333	△134,236	31,096

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△134,236千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油関連 事業	再生可能 エネルギー 関連事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	7,948,026	420,900	161,603	8,530,530	—	8,530,530
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	8,469	8,469	△8,469	—
計	7,948,026	420,900	170,073	8,539,000	△8,469	8,530,530
セグメント利益 又は損失(△)	219,775	△50,565	95,167	264,377	△195,165	69,211

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△195,165千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理等管理部門に係る経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	158,319千円	178,515千円
のれんの償却額	157千円	－千円